

# 緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 104 2021年6月7日 JR東労組

夏季手当第2回交渉を受け

# これが組合員の声だ!

## 【つがる運輸区分会】

JR東労組 弘前支部 <b>つがる運輸区分会情報</b> 第32号 2021年6月4日	発行責任者 櫻田 真人 編集責任者 教宣部
--	--------------------------

～夏季手当への組合員の思い～③

現在、分会では総対話を行っています。対話の中で安全議論や職場問題、夏季手当に関して多くの意見が出されています。その中で夏季手当に関する意見を一部で紹介いたします。職場で働く私たちの現実を会社に訴え要求実現に向けて全組合員でたたかいをつくり出そう!

- ・経営状況が良い時に押し出されたのであれば、逆に今は社員のモチベーションを保つために上げてほしい。
- ・黒字の時に社員に出していればよかった。長い目で見れば社員が入ってこなくなる。若い人は夫婦ケンカの元になる。社員の幸福につながるべき。
- ・この1年で仕事でやる事が増えてきて頑張ってきた結果が昇給係数2なのか? 社員の家族の幸福とは?
- ・会社は持ち家を推奨してきて、ボーナスを出さない。社宅を退去する期限もある。
- ・ついに定期昇給に手を付けてきたか、異常事態だ。若い人には大変なこと。我々の生活に直結している。会社は全てをコロナのせいにして、会社は何も悪くないという風潮を流している。
- ・なぜ赤字なのに株主配当が出せるんだ!? 無配でもいい!
- ・2.7ヶ月要求は納得、むしろもっと欲しい。要求額は決して無理な額ではない。業務はきつくない自分たちは苦勞しているのに賃金だけ下げられるのは納得できない。
- ・ボーナス少ないとローン払ってる身にはきついです。定期昇給が係数2になってびっくりした。
- ・夏季手当が2.0ヶ月を下回ったら転職する人も増えるんじゃないか。夏季手当は支払いが多いので少ないとキツイ。
- ・2.7ヶ月は妥当な額。会社にモノを言っていけるのは労働組合だけ!!

JR東労組 弘前支部 <b>つがる運輸区分会情報</b> 第33号 2021年6月4日	発行責任者 櫻田 真人 編集責任者 教宣部
--	--------------------------

～夏季手当への組合員の思い～④

現在、分会では総対話を行っています。対話の中で安全議論や職場問題、夏季手当に関して多くの意見が出されています。その中で夏季手当に関する意見を一部で紹介いたします。職場で働く私たちの現実を会社に訴え要求実現に向けて全組合員でたたかいをつくり出そう!

- ・2.7ヶ月要求は妥当だと思う。モチベーション向上のためにも!
- ・黒字でも出さない会社が赤字で2.7ヶ月も出すとは思えない。
- ・車のローン、車検、子供、税金と出ていくお金が多い。ボーナスで生活をまかなっている。JR東がある程度取らないと下の(グループ会社など)がきついのでは。
- ・7マン列車が増えて仕事量が増えている。
- ・会社は「家族の幸福のため、等」と言っているが、そんな風には感じない。
- ・2.7ヶ月の要求額には納得、東労組らしい。家のローンはあるが、ボーナス払いはやってない。今回のような事があるから、2.0ヶ月じゃ足りない。
- ・夏季手当は昨年と同程度欲しい。下回るとモチベーションが保てない。コロナはずっと続くわけではない。黒字化を見通しているならしっかり払ってほしい。株主配当はわかるが、役員報酬は削れないのか?
- ・他企業に比べて基本給が安い分、手当を当てにしている。その分でローンの返済もあるが、これからは借金しなければいけない人も増えるのでは?
- ・ボーナスが生活費の一部となっているのが現実、キビシイ。
- ・コロナだからと言って何でも消まされている気がする。
- ・生活がかかっているということも分かっていないようなボーナスの出し方だ。これからの出費(家や車)を踏みとどまる人も出てくるのでは? 持ち家も考えられない。

組合員の生活実感に重きを置き、  
満額回答を強く求める!

組合員の切実な声に対し、会社の  
噛み合わない回答は認められない!

## 【千葉車両センター連合分会】

2021年6月3日 No. 3  
JR東労組千葉車両センター連合分会  
発行責任者 久能 裕一  
千葉車両ホームページは「東労組千葉」で検索もしくはQRコードを読み込み

**夏季手当がないと困る!**  
これが職場集会等で出された現場の声です!

- ◆生活実感
  - ・生活費が不足、個人年金の解約に踏み込まざるを得なかった。手当がなく、元々の給与水準が苦しい日勤職ではもう限界
  - ・生活費を確保するために、配偶者が働きに出ることを考えている
  - ・昨年度は年収が1割減る中、月々の赤字補填を月末手当に頼る部分がある。手取りで50万円は必要
  - ・ボーナス月に車などのローン支払いが36万円もある。このままでは子どもマイホーム購入も厳しい
  - ・車のローンと学費ローンを合わせ、20万円をボーナス払い。それに毎月の生活費の補填分を足すと総支給で80万円は必要
  - ・コロナ禍で旅行などを我慢している。(コロナ終息後の東日本地域を旅行で元気にするために) 総支給70万円程度を求めたい
  - ・生活するには最低でも年収500万円程度が必要ではないか
- ◆黒字化・コロナ対策への努力
  - ・不要金属の売却や配送料の削減など、増収やコストダウンの努力を積み重ねている
  - ・所定の業務に加えて車内換気や消毒対応を行い、さらに変革2027実現のために委員会活動も取り組んでいる。会社経営のために黒字化を目指して活動していることも知ってほしい
  - ・車内や職場内での消毒が増え、コロナ前より業務の負担は増加している。特別手当5万円は絶対に必須
  - ・機動班では、車内換気のための側窓修繕やダンパ回路の改修、目安ステッカー貼付などコロナ対策工事が大変だった。そこに対する一時金があってもいい!
  - ・これまで業績が良くても「先行き不透明」として支給額が抑制されてきた。今こそ安定的に支給し、安心感を持たせてほしい

会社との「団体交渉」ができるのは労働組合だけです!  
現場の切実な想いを訴えるため、JR東労組に集まろう!

# 回答指定日まであと 4 日!

6月11日(金)

# 要求貫徹へ向けて全組合員で闘おう!